

Flash Back

～最近の出来事から～

暴力団追放共同アピール

暴力団追放総決起大会



一致団結して、シュプレヒコール

8月7日、市文化センターで大川市・後市・大木町合同暴力団追放総決起大会を開催しました。

今大会は、6月に大川市で発生した発砲事件をはじめ近隣市町においても、暴力団抗争による発砲事件が多発するなど、住民の平穏な生活が脅かされています。

「暴力のない安全で安心して暮らせるまち」の実現をめざし、暴力団追放への決意を確認し、共同アピールを採択した後、参加者全員で力強いシュプレヒコールを上げました。

当日は、センター大ホールの収容人数をはるかに超える参加があり、一部はロビーでモニターを見ながらの参加になりました。



写真上段＝浴衣姿で夏まつりを盛り上げるUP→
下段＝みんなで楽しい盆踊り

夏の暑気払い!

大川市民夏まつり

7月30日、国際医療福祉大学グラウンドで大川市民夏まつりが開催されました。

当日は、突然の夕立ちにより、園児の踊りが中止となるなどハプニングがありましたが、開会のあと、ハグでショーで大川市出身のアコースティックデュオ、UP→さんのライブや市内の女性団体のメンバーを中心に参加者全員による盆踊りで盛り上がりを見せました。

続いて豪華賞品が当たる大抽選会のあと、花火の打ち上げで幕を閉じました。

急な雨にもかかわらず、イベントや大学生、商店街が出店する屋台は、大いに賑わっていました。

数理科学の最先端に触れる

「数理の翼」大川セミナー2011



中学生に数理科学を講義する高校生

8月19日、21日、ふれあいの家で「数理の翼」大川セミナー2011が開催されました。

数理科学に共通の関心をもって集まった参加者が、学年や地域を超えて交流することで、次世代を担う想像力豊かな若者が育成されることを目的に開催されています。

セミナーには、青森県から沖縄県まで39人の高校生と市内外の中学生77人が参加。数学界のノーベル賞にあたる「フィールズ賞」を受賞した広中平祐氏（ハーバード大学・京都大学名誉教授）からの講義や参加高校生による中学生への講義などを体験しました。

真夏の猛暑に、一杯の清涼!

大川クールダウン大作戦



打ち水で涼を楽しむ参加者たち

7月30日、市役所駐車場において、大川クールダウン大作戦を実施しました。

夏の猛暑に対し、お風呂の残り水やエアコンに溜まった水を打ち水に利用することで、少しでも気温を下げ、真夏の電力エネルギーの節約を推進するため、例年開催されています。

当日は、市民夏まつり開催前ということもあり、多くの参加者が市の用意した自作の柄杓を手に、打ち水を楽しんでいました。

家庭や職場で真夏の猛暑を乗り切るため、打ち水やクールビズなどを活用しましょう。

子ども記者たちも注目!

数学かけこみ寺



若津神社に参拝する子ども記者たち

8月10日、西日本新聞の子ども記者たちが市が主催する数学かけこみ寺へ取材に訪れました。

当日、子ども記者たちは、市内の神社を訪れ、地元の人に和算に優れていた久留米藩第七代藩主の有馬頼隆に関して学んだり、植木市長に数学かけこみ寺を主催した経緯などを熱心に聞き取っていました。

最後に、数学かけこみ寺で勉強する子どもたち取材。感想や印象を聞かれた子どもたちは、照れくさそうに答えていました。

この取材内容は、9月中の西日本新聞日曜版「こどもふれあい新聞」の欄に掲載される予定です。

